

★次の文章を読んで、あとの問いに答えなさい。

わたるは必死ひっしになって登りぼうをよじのぼった。 【ア】

「すすむ君の勝ち。」

と、下で声が出た。わたるがてっぺんへ着アくより少し早く、すすむが、ゴールしていた。

「二本め。」

わたるとすすむは、登りぼうをすべりおりて、息イをととのえた。

二本めは、わたるのほうが、わずかに早かった。

「よし、三本め、行こう。」

わたるは、勝ちたかった。すりきずだらけになって、いっしょうけんめいレンシューウしてきた。まゆの喜エぶカオが見たい。 【イ】

「用意。」

大輔だいすけが号令ごうれいをかけた。

「スタート。」

わっと、かん声があがった。わたるは、むちゅうで登った。

「すすむ君の勝ち。」

と、下で声が出た。 【ウ】

すすむは、登りぼうの上で、右手をあげて、Vサインファイをすると、するするとぼうをすべりおり、ガッツポーズをして、とびあがった。

「やったー、ぼくが木登り名人だ！」

わたるは、登りぼうのでっぺんにつかまったまま、じっとしていた。くやしきで、なみだがぼろぼろでてきた。わっと声をあげてなきだしたいのを、



じっとこらえていた。【エ】

「わたる、おりてこいよ。勝負だから、しかたないだろう。」

下から大輔が、よびかけた。わたるはまだじっとしていた。大輔は、みんなにいった。

木登り名人は、すすむ君だ。

ジャングルネットの下に集まっていた三組のみんなは、帰ってしまい、大輔とまきだけが、のこっていた。

わたるは、登りぼうからおりた。だれとも話したくなかった。くちびるをかんで、校門のほうへかけだした。大輔が、

「教室にかばんを、おいてあるんだろう。どうすんだ。」

と、後ろからさげんでいた。

(大野 哲郎「友だちになれるかな」による)

1 線ア～オについて、漢字は読みをひらがなで書き、カタカナは漢字で書きなさい。

ア	イ
エ	ウ
オ	

2 線「後」と同じへん(部首)の漢字で書き表すものを、ア～エから一つ選んで、

記号に○をつけなさい。

ア ゴールをめざしてオヨギつづける。

イ 道のヨコに大きな木がある。

ウ つかれたので少しヤスむ。

エ ゴールでみんながマっている。



3 この文章には、次の一文がぬけています。どこに入れるのがもっともふさわしいですか。文中の【ア】～【エ】から選びなさい。

今度、すすむに勝てば、どうどうと木登り名人になれる。

4 線「わたるは、登りぼうのてっぺんにつかまったまま、じっとしていた」について、①、②の問いに答えなさい。

① このときのわたるのようすや気持ちとして、もっともふさわしいものを、ア～エから選んで、記号に○をつけなさい。

ア 三組のみんながすすむをおうえんしたので、はらがたっている。

イ 勝負の判定はんていになっとくできず、もう一度やり直したいと思っている。

ウ 勝負に負けたことがくやくしくて、どうしようもなくなっている。

エ 登りぼうのてっぺんで風にふかれて、気持ちがよくなっている。

② これに対して、勝負が決まったあと、すすむはどのような行動をとりましたか。それが書かれている一文をさがし、はじめの五字を書きぬきなさい。ただし、「、「や」。」も一字とします。


5 この文章には、会話を表す「」をつけたほうがよいところがもう一か所あります。当てはまる部分をさがして、はじめと終わりの三字をそれぞれ書きぬきなさい。ただし、「、「や」。」も一字とします。

はじめ


終わり


